

基本目標

1 市民と行政が協働するまち

- 「宜野湾市市民協働推進基本指針」に基づく地域づくりの担い手の育成等
- 中原区学習等供用施設の建設工事
- 宜野湾市DX推進計画の策定



2 健康で、安心して住み続けられるまち

- 子育て環境・支援の充実(保育士の処遇改善など)
- 子どもの貧困対策(子どもの居場所づくり支援など)
- 認知症対策・フレイル対策
- 特定健診受診率向上対策
- 妊娠期から子育て期における切れ目のない支援



3 文化を育み、心豊かな人を育てるまち

- 確かな学力の向上・国際化に対応できる人材の育成
- 特別な支援や医療的ケアを必要とする子ども達への支援
- 長田小学校校舎・嘉数小学校プールの増改築への取り組み
- 移動図書館車サービスの充実



4 地域資源を活かした、活力あるまち

- FIBAワールドカップ開催に関する取り組み
- 新たな観光資源の確立のための支援
- 地域キャリア教育支援
- ゆいマルシェを活用した農水産業の振興



5 安全・快適で、持続的発展が可能なまち

- 防災対策(備蓄食料の確保・地域防災リーダーの育成など)
- 消防本部・消防署の増築・改修に向けた取り組み
- 火葬場の取り組みにかかる市民負担軽減策の実施

6 平和をつなぎ、未来へ発展するまち

- 日米両政府及び沖縄県に対し、「普天間飛行場の一日も早い返還と速やかな運用停止」、「危険性除去」、「基地負担軽減」、「返還期日の確定」を強く求める。
- キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地における沖縄健康医療拠点の形成、同地区を核とした市民の健康増進施策への取り組み



令和5年度

施政方針

『人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾』



宜野湾市長
松川 正則

新型コロナウイルス感染症対策については、これまで感染防止対策にご協力いただいている市民の皆様、また、医療従事者をはじめ飲食業や観光業等事業者の皆様のご尽力に対しまして、心より感謝申し上げます。

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響もありましたが、本市としましては、引き続き、状況に応じた取り組みを速やかに実施し、市民並びに市内事業者の皆様とともにこの難局を乗り越えていく所存でございます。

市政運営にあたりましては、第四次宜野湾市総合計画基本構想の将来都市像「人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち宜野湾」の達成に向け、計画で掲げた6つの基本目標に加え、昨年9月に行われた市長選挙において公約として掲げた5つのビジョンに基づき、「やっぱり、宜野湾がいちば

ん！」だと実感していただけるよう総合的なまちづくりを推進してまいります。

本市の最大の課題である普天間飛行場の早期返還につきましては、日米合同委員会による返還合意から四半世紀が経過しており、市民は絶えず基地被害に晒される中で、固定化は絶対にあつてはならないとの危機感を持ち、一日も早い閉鎖・返還の実現を求めています。また、普天間飛行場の閉鎖返還並びに返還までの間の危険性の除去及び負担軽減に関して、日米両政府並びに沖縄県に対し、その確実な実現へ向け強く求めてまいります。

キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地につきましては、琉球大学と連携し、琉球大学医学部及び大病院の移設並びに市民の健康増進やまちづくりなどについて、今後返還される基地跡地利用の先行モデル地区となるよう、沖縄健

康医療拠点の形成へ向け引き続き取り組んでまいります。

令和5年度も、活力と活気に満ちた、豊かで安心して住み続けられるまちづくりを目指すとともに、すべての市民が「宜野湾市に住んでよかった」と実感していただけるよう、全力で取り組んでまいります。

令和5年度施政方針を掲載しています。

全文については市ホームページをご覧ください。⇒

